



# 悪天候にも負けることなく 仲間と共に釣大会をつくり出す!



10月6日～7日に宮城県塩釜市において「第29回釣り大会」を仙台地本準備のもと開催し、40名を超える組合員、OBの仲間が参加しました。

1日目はグランドパレス塩釜で総会を行い、今後の釣り部の活動について活発に議論をしました。また、本部・上原法対部長からJR東労組を取り巻く情勢、施策に対する姿勢、組織強化・拡大について講演をいただきました。総会後の懇親会では、交流を深め大いに盛り上がりました。

2日目は、船でのカレイ、テナヤ釣り、堤防での釣り3部門に分かれて競技を行いました。3mの波とうねり、そして小雨が降り続く厳しい環境の中での釣りとなりましたが、日頃のテクニックを発揮し、魚を釣り上げるのができました。

本部釣部は「明るく・楽しく・元気よく・よく遊び・よく学ぶ」をモットーに、組合員・OB・家族が参加しやすい活動を今後もつくり出し、脱退を余儀なくされた方の再加入と結果を呼びかけていきます。



### 釣り大会成績

カレイ釣り	1位 野口浩彦(東京)	2位 障子上明(仙台)	3位 菊池正人(水戸)
テナヤ釣り	1位 佐々木慎一(東京)	2位 佐藤敏行(仙台)	3位 奥山光昭(本部)
堤防釣り	1位 佐々木亮(仙台)	2位 廣田祐丞(仙台)	3位 千葉直樹(大宮)

## レールクラブの生誕の地で 新たな体制確立 12地本団結して出発進行!

10月10日、レールクラブ第6回総会をひたちなか海浜鉄道那珂湊駅構内の列車内にて開催しました。

当日は9地本から30名の仲間が集まり、久しぶりの再会となりました。那珂湊でのレールクラブの取り組みは2013年4月23日の結成総会以来となりました。「レールクラブ生誕の地」でもあるこの場所で新たな役員体制を確立しました。

た。新生レールクラブは、12地本が団結してたたかっていくことを確認しました。



## 再加入を決意した仲間と共に! バスケットボール大会 大いに盛り上がる!



2日目は本部・上原法対部長より講演を頂き、18春闘を改めて総括し、JR東労組が組合員を守るために今後どう進むべきか参加者全員で確認しました。

10月8日～9日に盛岡地本準備のもと「第22回バスケットボール大会」を栗石町菅体育館にて開催し、73名の仲間の参加で大会を盛り上げました。バスケットボールを通じての交流はもちろんですが、大懇親会では気仙沼伝統の「ハカ」の披露をはじめ、各地本特色あるチーム紹介を行い、参加者一人ひとりが主体的に大会をつくり上げました。

## JR東労組運輸サービス協議会第6回定期総会

10月11日、本部大会議室にて80名の組合員が結集し開催しました。

質疑では、「休日増などグループ会社の労働条件向上も必要だ」「JR東労組の必要性を感じてもらうためレクや歓迎会を開催してきた」「協議会内に組織混乱を持

ち込ませない」などの発言がありました。JR東労組運輸サービス協議会としても、12地本の総団結で新生JR東労組運動を推し進めることを全体で確認しました。

今後も働きやすい職場を目指し、仲間と共に奮闘していきます!



今大会には再加入を決意した仲間が多く参加し、参加者からは「レクリエーションを通じて交流の必要性を再認識できた」「レクリエーションを通じて積み上げてきたJR東労組の組織力を感じた」などの声も多くあり、バスケットボールを通じてJR東労組の必要性と仲間の大切さを改めて感じる事ができた大会となりました。

来年は大宮地本準備での開催を予定しています。今大会以上の仲間の参加で大会を盛り上げ、更なる組織強化・拡大を目指します。



今大会の結果は以下の通りです。

優勝	東京地本
準優勝	八王子地本
3位	秋田地本



仲間と共に  
写真部撮影会に参加しよう!!

開催日 2019年11月10日(日)  
～11日(月)

場所 栃木県鬼怒川温泉周辺  
および日光市内

参加費 14,000円

集約日 最終集約  
10月28日(月)



2019年10月9日～13日、第22回日韓労働者交流登山大会が開催され、JR東労組から10名の仲間が参加しました。

11日に大屯山を総勢43名で登山しました。大屯山は、標高は878メートルで非常に起伏の激しい山です。韓国の仲間と声を掛け合いつつ、誰にも怪我することなく登頂しました。

12日は、戦争と女性の人権博物館と西大門刑務所を訪れました。慰安婦問題は、終戦後も母国に帰ることができなかったハルモニがいること、終戦後も心の傷は癒えない事実があります。参加者か



労働者に国境がないことを感じさせてくれた登山大会であり、人権とは何であるのかを考えさせられました。今後も韓国の仲間との連携を強化していきます。



らは「戦争がある限り性奴隷は無くならない。戦争をこの世からなくさなくてはいけない」「ハルモニの生き方に強さを感じた。日本人は戦争と女性の人権博物館に行くべき」という感想が出されました。

## 起伏の激しい大屯山を 韓国の仲間と共に登りきる!!